

●今月の『ポピー』の算数で学習するおもな内容と大切なことがあります。

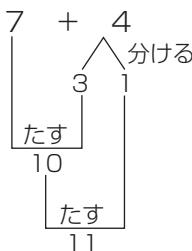
□の数字は、教科書のページ数です。

## 1年 たしざん

111~121

●7+4, 3+9のような、くり上がりのあるたし算ができるようにします。

## &lt;計算のしかた&gt;



たす数やたされる数を分けて、10のまとめを作つて計算します。

4は3と1。  
7は3で10。  
10と1で11。

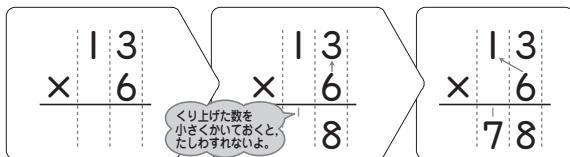


くり上がりのあるたし算は、2年生のたし算の筆算につながります。たし算カードを作つたり、身の回りの数字を使って、しっかり練習させましょう。

## 3年かけ算の筆算

下4~15

●2けた×1けたの計算、3けた×1けたの計算が筆算でできるようにします。



●かけ算の暗算のしかたを練習します。

$$\begin{array}{r} 26 \times 3 \\ \hline 20 & 6 \\ \textcircled{1} & \textcircled{2} \end{array}$$

①  $20 \times 3 = 60$   
 ②  $6 \times 3 = 18$   
 あわせて 78



## 5年 平均、単位量あたりの大きさ

130~159

●平均と単位量あたりの大きさの考え方を使って、いろいろなものが比べられるようにします。

平均…いくつかの数や量を等しい大きさになるようにならしたもの

$$\text{平均} = \text{合計} \div \text{個数}$$

こみぐあいの比べ方①1m<sup>2</sup>あたりの人数で比べる。

②1人あたりの面積で比べる。

人口密度…1km<sup>2</sup>あたりの人口のこと。国や都道府県などに住んでいる人のこみぐあいを表す。

$$\text{人口密度} = \text{人口} \div \text{面積}$$

速さ…単位時間あたりに進む道のり。

$$\text{速さ} = \text{道のり} \div \text{時間}$$

## 2年かけ算

4~26

●かけ算の意味と式の表し方を知り、5のだん、2のだん、3のだん、4のだんの九九の練習をします。特殊な唱え方をする九九(二二が4, 三三が9など)は、特に注意しましょう。

(注意) 2×5と5×2のかけ算の式の意味のちがいに気づかせましょう。

2×5…2の5倍  
5×2…5の2倍

答えは同じだけど、式の意味がちがうんだね。

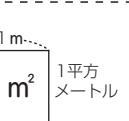
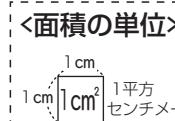
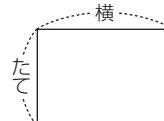
九九の暗記が嫌いになってしまわないように、しからず、「九九の表を見てごらん。」などと、繰り返し声かけをしましょう。



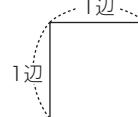
## 4年 面積、整理のしかた

下4~33

●長方形や正方形の面積を求める公式を知り、公式にあてはめて面積が求められるようにします。



$$\text{長方形の面積} = \text{たて} \times \text{横} (\text{横} \times \text{たて})$$



公式にあてはめるときは、長さの単位をそろえてね。



$$\text{正方形の面積} = \text{1辺} \times \text{1辺}$$

●2つの事がらを記録した表を、1つの表に整理するしかたを学習します。

## 6年 比例と反比例

122~141

●比例と反比例の性質・式・グラフを学習します。

## &lt;比例&gt;

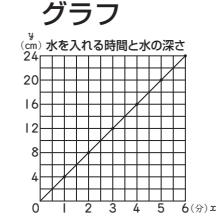
性質… $x$ の値が□倍になると、

$y$ の値も□倍になる。

式… $y$ が $x$ に比例するとき、

$x$ と $y$ の関係は、

$$y = \text{決まった数} \times x$$



## &lt;反比例&gt;

性質… $x$ の値が□倍になると、

$y$ の値が $\frac{1}{□}$ になる。

式… $y$ が $x$ に反比例するとき、

$x$ と $y$ の関係は、

$$y = \text{決まった数} \div x$$

